

第7回 エアロゾル科学・技術研究討論会講演および参加募集

主催：エアロゾル研究協議会

共催：日本気象学会，他

第7回研究討論会はこれまでどちがって都心から離れた群馬県吾妻郡嬭恋村の東海大学嬭恋高原研修センターにおいて下記により開催することになりました。標高1,395 mの美しい高原にあるこの研修センターは宿泊施設を兼備した会場ですので、美しい自然環境の中の同じ屋根のもとで大いに交流が深まるものと思います。今回の討論会では、これまでになかった試みとして、1) ポスターセッション、2) エアロゾルに関する写真、ビデオ、実演などの発表コーナー、3) 夜間の講演セッション、を開設することにしました。とくに、3) は散策やスポーツのための時間を昼間にとることの穴埋めです。また、特別セッションは昨年どおり行う予定にしております（主旨および発表要領は「エアロゾル研究」Vol. 3, 82および237（1988）をご参照下さい）。

多数のご発表とご参加をお待ちしております。

なお、5月末には研究討論会のプログラムおよび参加・宿泊のご案内をお送りしますが、今回は参加申込みの締切りが宿泊予約の関係上例年より大幅に早い時期（6月30日）になっておりますのでご注意ください。

開催日時：1989年8月22日（火）15時—24日（木）14時
会場：群馬県嬭恋村大字干俣2401

東海大学嬭恋高原研修センター

講演募集分野：エアロゾルに関する全分野を含みますが、一応次の分類に従ってお申し込み下さい。

- 1) 生成と性状（燃焼を含む）
- 2) 測定
- 3) 動力学と沈着現象
- 4) エアフィルタと集じん
- 5) 大気エアロゾル
- 6) 生体影響
- 7) 室内エアロゾル
- 8) クリーンルーム
- 9) エアロゾルの利用（医用、薬用、工業用材料）
- 10) その他
- 11) 特別セッション（「エアロゾル研究」Vol. 3, 82および237（1988）参照）。

講演の形式：1) 口頭発表、または、2) ポスター発表

- 講演種別**：1) 未発表の研究 2) 既往研究のまとめ
3) 最近既発表の研究

講演要旨原稿：日本語または英語。日本語の場合はアブストラクト、図、表、文献名は英語とします。和文約2,000字詰原稿用紙1～3枚以内（用紙は申込後送ります）。オフセット印刷。ポスター発表の場合も必要です。

講演発表：（口頭発表）OHPのみを使用可とします。スライドは使用できませんのでご注意ください。（ポスター発表）ポスターセッションに先だって、講演会場にてOHP使用による2分間の口頭発表をしていただくことになっていきますので、ポスター以外にその準備もして下さいますようお願いいたします。ポスター掲示パネルはタテ180 cm×ヨコ90 cmを予定しています。

講演申込締切：1989年5月6日必着

講演要旨原稿締切：1989年7月15日必着

講演申込要領：別紙申込書に所定の事項を記入して下記へお送り下さい。

〒606 京都市左京区田中関田町2-7

思文閣会館33号 粉体工学会内

エアロゾル研究協議会（TEL 075-751-0195）

討論会参加費：個人会員および賛助会員（ただし3名以内）5,000円、学生3,000円、共催および協賛会員7,000円、その他10,000円

宿泊費：20,000円（2泊6食、懇親会費を含む）ただし、4人程度の相部屋です。

なお、会期の前・後の日にも、ご家族や研究室・会社の仕事仲間と宿泊を希望される場合は、5月31日までに、東海大学・研究計画部放射線管理センター長・横地 明宛 FAX（0463-58-1812）でお申し込み下さい。なお、どうしても個室をご希望される方は近くのペンションの利用が可能です。